

前年度の改善方策について実行した改善結果

令和4年度の学校関係者評価報告書並びに自己評価をふまえ、令和5年度に実行した改善結果は次のとおりです。

1 子ども一人一人が、安心して自分のよさを発揮し、笑顔と元気にあふれる、意欲的、創造的に活動する学校

- (1) 尾山台小学校で継続して進めている校内研究「キャリア教育」では、キャリア・パスポートを活用したキャリア・カウンセリングによる子どもたちのよさを引き出す指導、さらに、日常的にほめて伸ばす指導を推進しました。子どもたちに向けた声かけを、①人間関係形成・社会形成能力（つながる力）②自己理解・自己管理能力（見つめる力）③課題対応の応力（たかめる力）④キャリアプランニング能力（ゆめにむかう力）の4つの視点として教職員が意識して行うことを学校全体で進めました。キャリア・カウンセリングを意識することは、小学校教員の専門性としての4つの視点、目の前の子どもたちに伝わる指示、意欲的にさせる発問、理解させる説明、共感・協働する場の設定につながり、わかる・できる授業につながります。今後も継続して進めていきます。
- (2) 校内委員会、QU、学校評価を活用し、全ての児童が素晴らしい個性を持ち、その個性を生かすことができるよう、特別支援教育を意識した学級づくり・授業づくりを進めました。特別な配慮ではなく、誰もがその時に必要な支援や配慮を受けることができるよう、児童理解、児童の相互理解、保護者との連携を進めました。

2 保護者・地域社会と相互理解、連携を図り、学校の役割をよりよく果たして、その信託にこたえる開かれた学校

- (1) 全学年がそれぞれ、地域と連携した学習活動に取り組みました。地域の商店街とは継続して良好な関係を築くことができています。地域の皆様には、子どもたちの登下校の安全・安心についても高い意識を持っていただくことができていると感じています。今年度は美術クラブの活動として、東京都市大学と連携した活動を行うことができました。
- (2) 学校公開の他に、月に一回行う音楽集会を公開しました。毎月100人前後の参観者があり、学校の様子を見ていただくことができました。

3 芸術や伝統・文化に学ぶ教育活動を大切に、情操や感性を豊かに育てる学校

- (1) 今年度の文化的行事は、コロナ明けということ意識し、体育館で音楽発表会を、校舎内で図画作品発表会を実施しました。学校で指導する子どもたちに身近な芸術である音楽・図画工作で学んだことを子どもたちが発表する機会を作ることができました。上記2(2)にあるよ

うに、音楽集会の月に一回の開催を継続できました。

- (2) 縄跳び週間に合わせてプロスポーツ選手を招聘し、子どもたちが指導を受ける時間を今年度も設けることができました。学校全体で、子ども自らが目標をもち、楽しみながら運動できる環境づくりができました。

【その他の項目から】

読書活動について、今年度は司書教諭の資格を持つ4人の教員で特別チームを作り、本校の図書館司書と連携し、読書に親しむ活動を作りました。また、授業の時間に尾山台図書館にて学習をする時間を全学年作り、図書館の基本的な活用方法から便利な使い方を学べるようにしました。そして、校長から全校朝会の時間などを活用し、小学生に適した名文と言われるもの（詩や漢文古文、文学作品の書き出し等）を紹介しました。高学年になっても読書に親しむ、読書を好きだと思える環境づくりを進めました。